



伊万里市立大川小学校 学校だより10号

元気いっぱい

令和6年11月1日 文責 校長 羽田野修

猛暑もようやく収まり、過ごしやすい季節になりました。学校では、元気に外で遊んでいる子どもたちの姿が多く見られるようになってきました。体を動かすにはよい季節です。スマホやタブレットから離れて、外で活動する時間をご家庭でも作ってみてもいいですね。



11月

行事予定

- 11月1日(金) 「東陵中学校文化祭」参加
- 2日(土) 伊万里市話し方大会(6年 代表 出場)
- 6日(水) 全校朝会
- 11日(月) 図書館祭り(～15日)
- 17日(日) 校内持久走大会、大川小フェスタ
- 18日(月) 代休
- 22日(金) 「東陵学園」新7年生説明会



松浦小とオンラインで交流しました

来年度から東陵学園でいっしょに生活することになる大川小と松浦小の子どもたち。来年度まで待てません！ということで、各学年がオンラインで交流をしました。10月16日(水)には5年生が松浦小の5年生と交流しました。お互いに学校や町のクイズを出し合うなど楽しいひとときを過ごすことができました。来年度、いっしょに勉強するのが、ますます楽しみになりました。

子どもたちのクイズの中から・・・(みなさまもお考えください)

- ・大川小学校のセンダンの木に来る珍しい鳥は？ 答え(?)
- ・松浦町のキャラクターの名前は？ 答え(?)



今から交流会を始めます！！



バイバイ！また会おうね

永井博士の意思を引き継いで

「玉の緒の 命の限り 吾はゆく しずかなる 心理探求の道」
「大川の 埜山(のやま)はみねど 梨の実の 甘きに想う ゆたかなる里」

この2つの詩は、昭和25年の修学旅行で、永井博士を見舞い、梨を贈った大川中学校の生徒たちに博士から贈られたものです。

10月21日(月)に6年生が永井博士について学びました。当日は大川小学校元校長先生に来ていただき話をさせていただきました。先生は、永井博士の生涯をたどりながら、永井博士の生き方について話をされました。そして、

「豊かなる里」とは、何を意味するのか、みなさん考えてみてください。」

という言葉子どもたちに投げかけて話を締めくくられました。

大川中学校の生徒たちが見舞った際、永井博士は、病床から上半身をもたげ、「皆さんは若い。これからの平和日本を築く宝の子供です。しっかり勉強してください。」と激励の言葉をくださったそうです。長い年月が経ちますが大川町の子どもたちは今でも町の宝、そして日本の宝です。子どもたちには、永井博士の2つの詩に込められた思いを大切にしてい、これからがんばってもらいたいと思います。6年生は、12月に予定されている長崎修学旅行で永井博士が暮らした如己堂を訪れる予定です。



博士の生涯をたどりながら話をさせていただきました



当日はケーブルテレビが取材に来られました

「大川小フェスタ」参観お待ちしております！！

長年、地域に支えられてきた大川小学校の閉校を記念し、11月17日(日)に「大川小フェスタ」が開催されます。保護者の皆様だけでなく、お子さんやお孫さんが小学校におられない地域の皆様の参観も歓迎いたします。また、当日は午前中に校内持久走大会も開催されます。こちらも参観していただき、子どもたちへのご声援をいただければ幸いです。

- | | |
|-----------|------------------------|
| ○校内持久走大会 | 9:40(1年生からスタートします) |
| | ※今年は南坂道下の道路を回るコースになります |
| ○大川小こども祭り | 12:30~13:30 |
| ○学習発表会 | 13:40~15:30 |

悩みを相談する場所はたくさんあります。
そのような場所を学校のホームページでも紹介しています。
ホームページの「お知らせを」ご覧ください。

<https://www.education.saga.jp/hp/okawa-e/>

